

JMFF

日機連週報

第3548号 2026年4月10日(金)

CONTENTS

● 委員会報告

2026年度事業計画書案、同予算書案及び同自転車等
機械工業振興事業に関する補助金の受入れを審議
— 統括審議委員会、各議決案件等を承認し理事会へ付託 —

● ワシントンレポート特別記事

人口減少社会における日本型の交通モデルを求めて
広島県・島根県の中山間地域に見られる譲り合いと技術の融合
— 藤原章正教授インタビュー —

● 日機連の動き

● 会員イベント情報

(一財)機械振興協会 第496回機振協経済研究所セミナー

「フィジカルAIと半導体 — 業界縦断の連携環境整備 —」のご案内

(一社)日本冷凍空調工業会 「第6回エアコン早期点検川柳募集開始」のお知らせ

● お知らせ

厚生労働省 令和8年「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」実施について

厚生労働省 「化学物質による労働災害防止のための新たな規制」について

台湾工業技術研究院(ITRI)

「台湾ロボットとフィジカルAI：海外向けオンライン投資誘致説明会」のご案内

● 機械のチカラ(第21回)

(一社)日本試験機工業会の概要について

日機連ではホームページを開設しておりますのでご利用下さい。

URL : <https://www.jmf.or.jp>

[バックナンバーはこちらから](#)

<禁無断転載>

● 委員会報告

2026 年度事業計画書案、同予算書案及び同自転車等

機械工業振興事業に関する補助金の受入れを審議

— 統括審議委員会、各議決案件等を承認し理事会へ付託 —

統括審議委員会(委員長・平井裕秀 (株)日立製作所 執行役常務 グローバル渉外統括本部長)の開催に代え、書面審議を行った。

議決事項として、(1)2026 年度事業計画書案、(2)2026 年度予算書案、(3) 2026 年度自転車等機械工業振興事業に関する補助金の受入れについて、委員に諮った結果、過半数の賛成を得たため、2025 年度第 3 回統括審議委員会として当該議案を可決する決議があったものとみなすことを承認し、理事会(書面決議)に付託した。

〔書面議決事項〕

1. 2026 年度事業計画書案について

各委員会で審議・決定した委員会事業、専門部会事業、調査・情報事業等、ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会への参画・支援及び他団体との協力・連携事業について書面審議に諮り、2026 年度事業計画書案を了承した。(2026 年度事業計画書案の骨子については、記事巻末を参照)

2. 2026 年度予算書案について

2026 年度予算書案について、収支予算書案、同内訳表及び 2025 年度決算見込みとの対比等について書面審議に諮り、原案を了承した。2026 年度予算は、経常収益計で 337,607,947 円、経常費用計で 335,239,553 円である。

3. 2026 年度自転車等機械工業振興事業に関する補助金の受入れについて

公益財団法人 JKA から 2026 年度自転車等機械工業振興資金の補助を受けて 2 つの補助事業(補助金総額 17,905 千円)を実施することについて書面審議に諮り、原案を了承した。

日機連 2026 年度事業計画書(案)の骨子

(※は公益財団法人 J K Aに係る機械工業振興資金補助事業)

第1章 委員会事業

1. 技術イノベーション研究委員会

- (1) 産業構造変化に対応する機械産業の課題調査
- (2) DXによる製造業のイノベーションに関する動向調査
- (3) 機械産業の未来に向けた業界の枠を超える挑戦と注目技術の情報収集

2. GX研究委員会

- (1) 脱炭素化に向けた政策・技術動向の調査
- (2) サークュラーエコノミー社会の実現に向けた政策・技術動向の調査
- (3) 国内外の政策・技術によってもたらされる事業機会の探索

3. グローバルバリューチェーン研究委員会

- (1) 分断が進む国際秩序の行方と日本の対応
- (2) 経済安全保障と産業競争力強化に向けた日本機械産業の対応

4. 企業マネジメント研究委員会

- (1) 企業価値向上のための経営マネジメント
- (2) レジリエンス経営とリスクマネジメント最適化
- (3) 人的資本経営と組織改革

5. 関西事業活力研究委員会

- (1) 地域産業の特徴的な動向と課題を踏まえた活動(調査・研究活動)
- (2) 地域産業高度化への取組
- (3) 関西地域広報活動に関する事業の推進

6. 税制金融政策特別委員会

- (1) 我が国産業及び企業の活力や国際競争力の維持・強化に資する税制等の検討及び情報収集
- (2) 税制改正要望の進め方等について
- (3) 金融問題に関する情報収集

7. 機械安全標準化特別委員会 ※

- (1) ISO/TC199 及び IEC/TC44 国内審議団体活動
- (2) 機械安全に係わる国際規格の JIS 化の推進

8. 機械安全推進特別委員会

- (1) 機械安全規格改定のための調査研究(新技術を導入した機械への対応)
- (2) 機械安全の普及促進活動

9. ロボット大賞審査特別委員会 ※

2026 年度は、2025 年実施した「第 12 回ロボット大賞」の成功に向けての改善点の検討及びロボット産業の更なる興隆に資するべく種々の調査研究の成果も踏まえ「第 12 回ロボット大賞」表彰事業を行い、「生活の質の向上」に資するロボットの普及に貢献する。

第2章 専門部会事業

1. 企画評価専門部会

統括審議委員会から付託された項目について、専門的な審議を行い同委員会に意見を上申する。

第3章 調査・情報事業等

1. 講演会・説明会の開催
2. 政策当局との相互コミュニケーション会合の開催
3. 中国経済研究会の開催
4. ホームページの運営
5. 日機連定期情報の発信
6. 労働安全対策を推進
7. 関西地域の事業の推進(大阪事務所)
8. 関西地域の広報活動に関する事業の推進(大阪事務所)

第4章 ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会活動への参画・支援

・ロボット分野の事業

「全国ロボット・地域連携ネットワーク」やロボティクス分野におけるソフトウェア開発基盤構築事業などで経産省と連携して活動するとともに、更なるロボットの普及につながる活動や、標準化の取り組み、次世代ロボット開発やロボット利活用の裾野を広げるロボットのイノベーションに資する活動を継続推進する。未来ロボティクスエンジニア育成活動については、将来予測されるロボット人材不足への対応を目指し検討を深める。

・IoT の分野の事業

「エンジニアリング変革に向けたデータ連携」活動を更に推進し、その動向把握および「Open Data Spaces (ODS)」の更なる周知および推進のために、ハノーバーメッセ 2026 に参画しドイツのキーパーソンと交流すると共に、国際シンポジウムや IMX の場で議論を深め、グローバルでの枠組み形成における日本の主体的な取り組みに貢献する。また、引き続き、国際標準化の議論への参加、国際標準化活動の普及・促進、産業セキュリティ分野での検討、中堅中小企業への支援策検討、またそれらの活動を通じて得られた情報の会員への提供などを行い、IoT の普及と製造業変革に向けた基盤となる情報提供と提言に努める。

日機連は、上記、同協議会の 2026 年度活動へ引き続き参画、支援を行う。

第5章 他団体との協力・連携事業

1. 一般財団法人機械振興協会との連携
2. JEED との人材育成分野における連携協力
3. 団体会員との情報連携

〔総務部〕

Washington Report ワシントンレポート 特別記事

ワシントンコア社(ワシントン DC)より特別記事を寄稿いただきました。

人口減少社会における日本型の交通モデルを求めて 広島県・島根県の中山間地域に見られる譲り合いと技術の融合 — 藤原章正教授インタビュー —

人口減少と高齢化が進む日本では、いわゆる「限界集落」と呼ばれる、コミュニティの維持が難しい地域が増えています。特に、居住地が分散し、生活サービスへのアクセスが困難な中山間地域では、住民が日常生活を送るうえで欠かせない移動手段をどのように確保するか、が重要な課題となっています。移動困難な住民は外出を控えるようになり、その結果、身体活動量の低下や社会的孤立を招き、健康状態が悪化するという負の連鎖が生まれます。

従来、交通システムは経済効率や利便性の最大化を前提に設計・評価されてきました。しかし近年、その前提では地域交通が十分に機能しない状況が明らかになり、新たな交通システムのあり方が求められています。中国地方の中山間地域や広島市における地元発の創意工夫あふれる取り組みは、その新しい姿を示す事例と言えます。本稿では、広島大学の藤原章正教授に、日本発の交通サービスが人々の健康と幸せにどのように寄与するのかを、お伺いしました。



記事の詳細は、右上のサムネイルか下記 URL をクリックして下さい。

<https://www.jmf.or.jp/jmf/wp-content/uploads/2026/04/WCOREtr11.pdf>

本資料及び米国投資・技術動向全般にご関心のある方はワシントンコアにお問い合わせください。

<https://www.wcore.com/home/contact-jp/#form-jp>

お問い合わせお待ちしております！

WASHINGTON | CORE

日機連の動き

○ 今後の会合予定

開催日時		会 合 概 要	場 所
4 月	11 日(土)	大阪事務所 日機連杯	大阪府豊能郡 能勢町
	20 日(月) 14:00～	会員講演会「最新の政策動向」(仮) 講師:経済産業事務次官 藤木 俊光様	日機連会議室 1・2



神田川の夜桜(写真提供:M.W.様)



会員イベント情報

(一財)機械振興協会 第 496 回機振協経済研究所セミナー 「フィジカル AI と半導体 — 業界縦断の連携環境整備 — 」のご案内

一般財団法人 機械振興協会 の経済研究所では、定期的にセミナーを開催しております。

昨年度に国内半導体とデータセンター(DC)に残る問題を調査し、半導体は国内に牽引役となる需要家不在であり、応用システムのリード役が必要なこと、また DC 業は顧客が要望する仕様に従うしかなく、国内 DC 業は主要顧客が GAFAM 等である現状では、DC 側の意向を入れる余地が殆どない点などを示しました。

今後はどちらの業界も対顧客従属に留まらず、顧客と相補的・一体的に市場拡大を進める方策が必要で、国内発の強い応用システム、たとえばフィジカル AI 産業等の繁栄が必須です。そのフィジカル AI はわが国機械産業にとって発展機会であると同時に脅威でもあります。機会を堅固につかむには、AI 応用の機械企業と、デバイス等のサプライサイド企業の、互恵的連結の環境整備が必要かつ有効です(含人材グローバル化推進等)。そのため第 496 回機振協セミナーでは、「**フィジカル AI と半導体 — 業界縦断の連携環境整備 —**」をテーマに取り上げます。この機会に、ぜひ奮ってご参加頂ければ幸いです。

記

第 496 回機振協セミナー概要

開催日時 : 2026 年 4 月 24 日(金) 13:30~15:00

開催方式 : WEB システムにより開催 事前申込制(先着 100 名 参加費無料)

テーマ : 「**フィジカル AI と半導体 — 業界縦断の連携環境整備 —**」

講師 : (一財)機械振興協会経済研究所 名誉フェロー 井上弘基氏

モデレータ : (一財)機械振興協会 執行理事 兼 経済研究所 所長代理 北嶋 守氏

主催 : (一財) 機械振興協会経済研究所

参加費 : 無料

申込締切 : 4 月 21 日(火)まで

<お問い合わせ>

一般財団法人 機械振興協会 経済研究所企画管理室 info@eri.jspmi.or.jp

なお、ご提供いただく個人情報は、当協会セミナー、講演会及び展示会関連等以外に使用いたしません。

お申込み後の個別での参加証発行はしていません。

セミナー前日までに、WEB 参加証と資料をメールにてお送り致します。



[セミナーの詳細・お申込みは、\(一財\)機械振興協会の公式ホームページのリンクへ！！](#)

(一社)日本冷凍空調工業会「第6回エアコン早期点検川柳募集開始」のお知らせ

[一般社団法人 日本冷凍空調工業会\(JRAIA\)](#)では、冷房シーズンに向かう立夏(今年、5/5)を「エアコンの日」、暖房シーズンに向かう立冬(今年は11/7)を「エアコン暖房の日」と定め、パワフル、省エネ、クリーンなエアコンのPRを進めています。

みんなで応募しよう!



「エアコン早期点検川柳」大募集!

昨今の猛暑により、熱中症対策の重要性が一層高まっています。その影響を受け、エアコンの設置や修理の依頼が特定の期間に集中した場合、対応までに数週間を要する状況が発生する可能性があります。(一社)日本冷凍空調工業会では、いざという時に困らないよう、エアコンの早めのお手入れや運転確認の重要性を広く知って頂くため、試運転の語呂に合わせて、4月10日(4運10(しうんてん))を「エアコン試運転の日」と制定し、啓発活動の一環として川柳の募集を行っています。

昨年は2,566句の応募があり、近年の猛暑に備えて早期点検の重要性を詠んだ句や、早めの点検が夏の涼にもつながるといふ助言を盛り込んだ句など、「4運10(しうんてん)」を織り込んだ作品が多数寄せられました。今年で第6回を迎える「エアコン早期点検川柳」では、エアコンの早めのお手入れや運転確認、ならびに熱中症対策をテーマに川柳を募集します。エアコンは、私たちの生活に切っても切れない欠かせない必需品です。皆様からのたくさんのご応募をお待ちしています。



記

第6回「エアコン早期点検川柳」大募集の概要

【応募件数】1人につき3句まで応募いただけます。

【応募期間】2026年4月10日(金)～5月31日(日) ※必着

【内容】「エアコンの早めのお手入れと運転確認、熱中症対策」を題材として川柳を募集します。

※応募は自作で未発表のものに限ります。

※応募にあたり、個人情報の取扱いに関する法令およびその他の規範を遵守し、個人情報を適正に取り扱います。

【賞品】最優秀賞 3万円分の図書カード(1名様)

優秀賞 1万円分の図書カード(5名様) 佳作 5千円分の図書カード(10名様)

【応募先】〒106-0041 麻布台ヒルズ郵便局留 エアコン早期点検川柳 係

【必要事項】ハガキに住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、上記まで応募ください。ペンネームでの応募可。

【選者】(一社)日本冷凍空調工業会 家庭用エアコン企画専門委員会及びエアコン早期点検川柳事務局

【入選発表】2026年6月30日(火)に(一社)日本冷凍空調工業会及びエアコン早期点検川柳事務局での審査により決定。入選発表は(一社)日本冷凍空調工業会の公式サイトにて発表します。

【諸権利】応募作品は返却しません。著作権など一切の権利は主催者側に帰属します。

※応募作品の個人情報は慎重に取り扱い、本キャンペーンの目的以外には一切使用しません。

お知らせ

厚生労働省 令和8年「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」実施について

この度、厚生労働省より、令和8年度の「クールワークキャンペーン」についての広報依頼がありましたので、お知らせいたします。

記

令和8年「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」につきまして、報道発表いたしましたので、お知らせいたします。下記の厚生労働省 HP の URL 及び関係資料につきまして、リンクよりご確認ください。



<発表 HP> https://www.mhlw.go.jp/stf/coolwork_2026.html

<関係資料>

- (1)[\(別添\)R8 熱中症キャンペーン実施要綱.pdf](#)
- (2)[\(別添\)R8 熱中症キャンペーン実施要綱.pdf](#)
- (3)[\(別紙\)2025 職場における熱中症による死傷災害の発生状況\(速報\).pdf](#)

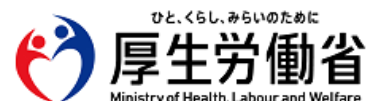


厚生労働省 「化学物質による労働災害防止のための新たな規制」について

この度、厚生労働省より、令和8年度の「化学物質による労働災害防止のための新たな規制」についての周知依頼がありましたので、下記の通り、お知らせいたします。

記

標記の件につきまして、



- 「労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令」(令和8年3月 31 日令和8年政令第 90 号)
- 「労働安全衛生規則の一部を改正する省令」(令和8年3月 31 日令和8年厚生労働省令第 68 号)
- 「労働安全衛生規則第五百七十七条の二第五項の規定に基づきがん原性がある物として厚生労働大臣が定めるものの一部を改正する告示の一部を改正する告示」(令和 8 年 3 月 31 日厚生労働省告示第 172 号)
- 「労働安全衛生規則第五百七十七条の二第五項の規定に基づきがん原性がある物として厚生労働大臣が定めるものの一部を改正する告示」(令和8年3月 31 日厚生労働省告示第 173 号)
- 「労働安全衛生法施行令第十八条第三号及び第十八条の二第三号の規定に基づき厚生労働大臣の定める基準の一部を改正する件」(令和8年3月 31 日厚生労働省告示第 174 号)

が 3 月 31 日付けで公布等されましたので、関連法令・関連通達を情報提供させていただきます。

上記政令等は以下の URL で掲載しております。

[化学物質による労働災害防止のための新たな規制について | 厚生労働省](#)

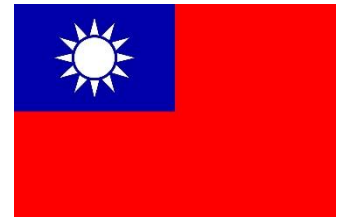
関連法令

- ・政令 [労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令\(令和8年3月 31 日令和8年政令第 90 号\)改め文](#)[31KB]
- ・省令 [労働安全衛生規則の一部を改正する省令\(令和8年3月 31 日令和8年厚生労働省令第 68 号\)](#)[224KB]
- ・告示 [「労働安全衛生規則第五百七十七条の二第五項の規定に基づきがん原性がある物として厚生労働大臣が定めるものの一部を改正する告示の一部を改正する告示」\(令和8年3月 31 日厚生労働省告示第 172 号\)](#)[49KB]
[「労働安全衛生規則第五百七十七条の二第五項の規定に基づきがん原性がある物として厚生労働大臣が定めるものの一部を改正する告示」\(令和8年3月 31 日厚生労働省告示第 173 号\)](#)[174KB]
[「労働安全衛生法施行令第十八条第三号及び第十八条の二第三号の規定に基づき厚生労働大臣の定める基準の一部を改正する件」\(令和8年3月 31 日厚生労働省告示第 174 号\)](#)[66KB]
- ・関連通達 [労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令等の施行について\(令和8年3月 31 日付け基発 0331 第 6号\)](#)[163KB]

台湾工業技術研究院 (ITRI)

「台湾ロボットとフィジカル AI：海外向けオンライン投資誘致説明会」のご案内

[台湾工業技術研究院\(ITRI\)](#)より、当会へ「台湾ロボットとフィジカル AI：海外向けオンライン投資誘致説明会」についての、広報依頼がありましたので、下記の通り、ご案内いたします。



記

「台湾ロボットとフィジカル AI：海外向けオンライン投資誘致説明会」セミナーの概要

- ・ イベント名：台湾ロボットとフィジカル AI：海外向けオンライン投資誘致説明会
- ・ 開催日時：2026 年 4 月 29 日(水) 14:50～15:55(日本時間)
- ・ 形式：オンライン(日本語同時通訳付き)
- ・ 費用：無料(事前登録制)
- ・ 登壇企業：
 1. 研華科技(Advantech):エッジ AI によるスマートロボットの応用
 2. 原見精機(Touché Solutions):ロボット触覚センサー技術の動向
 3. 季河資訊(Riversoft):サービス産業向け AI ロボット・ソリューション
- ・ 参加申込 URL: <https://forms.gle/oTLRvG6NVca79tDu8> (※会議参加用リンクは、お申し込み完了後に E-mail にて個別に送付いたします)



[台湾ロボット&フィジカル AI イノベーションフォーラムのパンフレットへのリンクはこちら！！](#)

機械のチカラ

(第 21 回)

(一社)日本試験機工業会の概要について

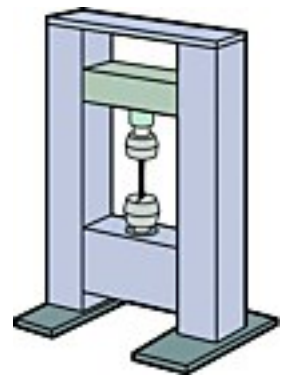
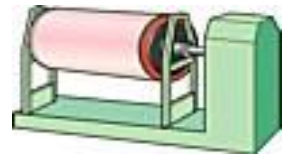
日機連は、連合会として機械工業と密接な関連を有する様々な業界団体様に「団体会員」として、ご加入頂いております。このコーナーでは、日本の機械工業を支える、当会の団体会員様をご紹介させていただきます。今回は、交通・生活・医療他、様々なインフラの安全を、無数の試験によって守っている、目に見えない場所で働く「試験機」の工業会様です。

概要: [\(一社\)日本試験機工業会\(JTM\)](#)は、材料試験機や環境試験機など、試験・計測機器を製造する日本の主要企業が加盟する団体で、材料強度や品質の測定分野の技術開発、規格制定(JTM 規格)、市場調査、技能検定、総合試験機器展(TEST)の開催などを通じて、試験機業界の発展、日本の産業の安全・品質向上等に資する取組を行っています。会員数は、正会員:67 社・団体 賛助会員:6 社・団体です。

歴史: 1940 年に「全国材料試験機工業組合」として発足し、1948 年に「試験機工業会」に、1974 年に「日本試験機工業会」へと名称を変更し、2019 年に一般社団法人へ移行しました。今後も「安全・安心」して使えるものづくりの基本としての「試験と計測」を通して社会に貢献してまいります。

業種: 試験機には、動力・釣合い試験機、材料試験機、環境試験装置、計測・評価・校正や受託調査用試験機などがあります。[試験機一覧](#)コーナーでは、生産メーカーや機器の概要等を紹介しています。

統計: 試験機の販売高の推移は、[市場動向](#)で知ることができます。試験機に関する JIS 原案作成に取り組んでおり、また当工業会として必要な規格は JTM として制定し試験機の標準化を図っています。詳細は規格情報([JTM 規格 | 日本試験機工業会](#))コーナーに掲載されています。同時に ISO、IEC 国内委員会への参加と国際会議への代表を派遣しています。



同工業会が主催する”総合試験機器展「TEST」”は、1991 年に晴海会場において「TEST '91」を開催し、以後隔年に開催しております。1997 年からは会場を東京ビッグサイトへ移し、今やこの展示会を見れば、試験機の全てが分かるばかりか、産業機器の品質管理・向上に不可欠な試験機の専門展として内外に定着した展示会となっています。なお、前回は、2025 年 9 月 10 日(水)3 日間、「[TEST2025—第 18 回総合試験機器展](#)」として開催しました。



[試験機の業界団体、日本試験機工業会へのリンクはこちらからどうぞ!!](#)